

# チャレンジスクール 大門小のびのび教室

創立150周年おめでとうございます。大門小のびのび教室スタッフ一同心よりお祝い申し上げます。

放課後の子どもたちに安全・安心な居場所を提供する「放課後子ども教室」が、平成19年度に文部科学省の委託事業として開始されました。美園公民館で活動していた「美園遊びのサポーター」のスタッフが、さいたま市から開設を依頼されて「大門小のびのび教室」の活動が始まりました。(開始時は任意のため20校が参加)

さいたま市では、平成21年度から土曜寺子屋構想を取り入れて、放課後や土曜日を活用したチャレンジスクールを実施しています。大門小のびのび教室も平成23年度に土曜日を加えたチャレンジスクールとなり、平成26年度には「地域による優れた学校支援事業」として文部科学大臣表彰を受賞しました。平成29年度から浦和大学の教育インターンシップで学生を受け入れています。

チャレンジスクールの目的は、

- 子どもたちの友達や仲間づくり。
- 様々な活動を通して子どもたちの自主性や社会性、創造性などの望ましい資質を育む。
- 子どもたちの基礎学力の向上、学習習慣の定着を図る等。

放課後のびのび教室は、自主学習で宿題やドリル等を行い、体験活動は「自由遊び」が中心で体育館・校庭ではボール遊びや鬼ごっこ等。室内では折り紙、ぬりえ、昔遊び等自由に遊びます。



「地域による優れた学校支援事業」として  
文部科学大臣表彰を受賞

放課後



宿題に取り組んでいます。



鬼遊び「色鬼」：「緑！」触る色を鬼が伝えています。他にもいろいろな鬼遊びをしています。



学年ごとに分けられた算数プリントを選んで取り組みます。



ドッジボール、バスケットボール、バランスボール、フリスビーなど様々な遊びをしています。



オセロ



折り紙



ピアノ

土曜日

土曜日のびのび教室は、学習が中心になります。異学年で作ったグループで、自分のやりたい教材をもって来て2コマ（1コマ25分）自主学习します。体験活動は全員が年度計画で決めたものを行います。体育館で行う、さいたま市のスポーツ推進委員のニュースポーツ、室内で行う木工、浦和大学の工作ワークショップ、ハロウィンのランタン作り等、体験活動は子どもたちに人気があります。



### 「ニュースポーツ」



さいたま市スポーツ推進委員の皆様と、「ビーチボールバレー」を楽しみました。

### 「レターラックづくり」



板を組み立てて「レターラック」を作りました。難しい釘打ちもうまくできました。レターラックの上部に黒板を貼り、絵やメモをかけるようにしました。

## 浦和大学の学生による「エコ工作ワークショップ」



浦和大学の皆さんが、子どもたちのために工作ワークショップを提供してくれました。

## お雛様作り



折り紙や千代紙などを貼り合わせてお雛様を作りました。紙皿を壇に見立てお雛様を据え、飾りつけをしました。

大門小のびのび教室は平成19年度に活動を開始して今年で満15年になりました。これからも子どもたちが友達や仲間を作り、楽しく学び、遊べる、安全・安心な素晴らしい居場所作りに励みたいと思っています。

